



学校だより
かけ橋
パート IV
横須賀市立汐入小学校 校長室

2014. 11. 28
No. 17

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

ねこはしる

11月22日（土）汐っ子まつりに合わせて、午前中に「ねこはしる」という観劇が行われました。今回の公演は、文化庁の事業で、そちらで予算をつけてくれてあるので、子どもたちも、保護者の方も無料で鑑賞していただくことができました。4年生だけは、事前にワークショップに参加したり、当日朝から劇団の人とリハーサルをしたりしました。



内容的には、多少難しい部分がありましたが、どの子どもも、1時間以上の公演の間、笑うときは笑い、集中するところは集中して観ていました。さすが汐入の子と感心しました。子どもたちの感想をご紹介します。

○ズンダダダダというなだれの音がおもしろかった。（2年）

○私は、本番前とても緊張しました。でも、ユードイさんが教えてくれた方法でやってみると、緊張が少しずつほぐれました。実際にやり終わると、「やりきったな。がんばったな。」と気持ちが心の中にひろがりました。（4年）

○ぼくたちは、いきなり布の服みたいのと軍手を着けました。正直いやでした。でも、やっているうちに慣れたので、普通にできました。本番は、緊張せずに行いました。（4年）

○家に帰って、お母さんがとってくれたビデオを見たら、自分がやった時は、きれいに聞こえていたそよ風の音が、ぜんぜん違った音に聞こえていたのでびっくりしました。（4年）

〇3人で何役もやっていたので切り替えが早くて、すごかったです。最後に、ランと魚がどうなったのか、気になります。(5年)

しおかぜ学級

汐入小学校には、「しおかぜ学級」という名前の特別支援学級があります。市内では、特別支援を要する子どもたちがその子が住んでいる地域の学校に通学できるようにという配慮から、ほとんどの学校に、特別支援学級が開設されています。本校でも、平成20年からしおかぜ学級が開設されました。

しおかぜ学級では、特別な教育的支援を必要とする児童の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行っています。現在3名が在籍し、2名の担任できめ細かな指導を行っています。3名とも、それぞれの学年の教室（交流級）で学習しています。しおかぜ担任から必要な支援を受けながら、同年代の仲間とふれあう中で、人との関わりを学んだり、興味関心の幅を広げたりして、社会性を伸ばしています。



また、朝の会は交流級で参加しますが、1時間目は、「しおかぜ朝の会」ということで、しおかぜの教室で、1日の流れを把握して、落ち着いて活動するための準備の時間にしています。

交流級で過ごすことで、しおかぜ学級の子どもたちは、周りの子どもたちに刺激されて、い

つも以上に力を発揮したり、頑張りが続いたりする良いことがあります。また、普通級の子どもたちにとっても、しおかぜ学級の子どもたちと関わることによって、学べるものがたくさんあります。

同じ地域に住む人間として、障害がある子も障害がない子もともに学ぶことはとても大切なことだと思います。